

2022年12月12日
岩瀬コスファ株式会社

茶花エキス配合の機能性表示食品 届出受理

岩瀬コスファ株式会社（本社：大阪府大阪市、代表取締役社長：岩瀬由典）が消費者庁に届け出た茶花エキス配合錠剤サプリメント「茶っ花りサポート」が、機能性表示食品として受理されました。機能性関与成分チャカサポニンを1.17mg含有する本商品は、食事の脂肪の吸収を抑え、食後に上がる血中中性脂肪を抑える機能性表示食品であり、当社では初めての届出商品となります。

茶花エキスは、日本人にとってなじみ深いお茶の花部から抽出されます。お茶の花はツバキに似た小さな白い花で、鎌倉時代から人々に食されてきました。近年、茶花の含有成分や薬理活性が注目されていることから、当社では機能性原料として開発を進めており、新たな臨床試験を実施することで、チャカサポニンによる中性脂肪上昇抑制効果が認められました。

今後も、茶花の機能性に関する研究開発を続けていくと同時に、チャカサポニンのSRを提供し原料供給にも注力していきます。また、開発型商社としての強みと、今回の「茶っ花りサポート」での届出経験を活かし、茶花乾燥エキスをはじめとする機能性原料の販売や健康食品開発・生産の支援に取り組んでまいります。



【本件に関するお問い合わせ先】

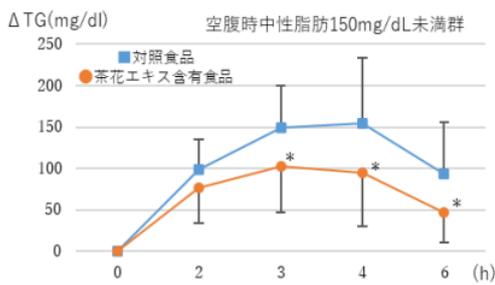
岩瀬コスファ株式会社

広報・秘書室 芹澤・後

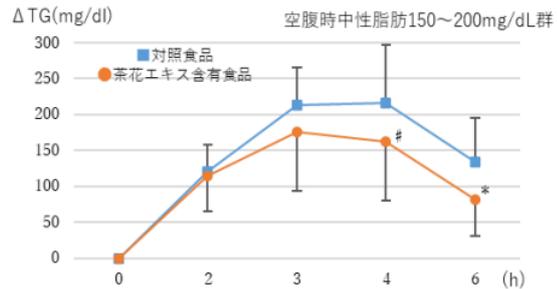
TEL：03-6841-3456

【臨床試験データ】

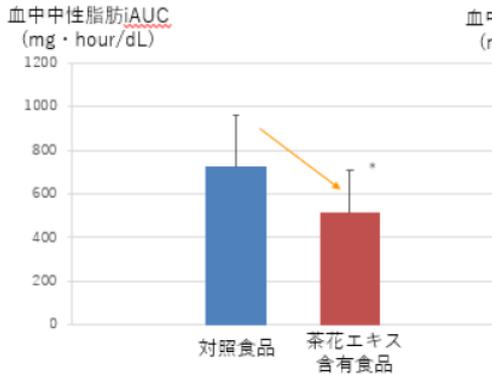
空腹時中性脂肪値が、正常値（150mg/dL未満）およびやや高め（150mg/dL以上～200mg/dL未満）の疾病に罹患していない成人男女30名（正常値：15名、やや高め：15名）を対象に、茶花エキスを含む食品または茶花エキスを含まない対照食品を摂取してもらい、その後脂肪が多い食事を負荷し、負荷前、負荷2時間後、負荷3時間後、負荷4時間後、負荷6時間後に血中中性脂肪を測定し、中性脂肪のiAUC(摂取前から摂取6時間後の変化量)を評価した。解析では、2名を除外し28名(正常値：15名、やや高め13名)にて実施した。



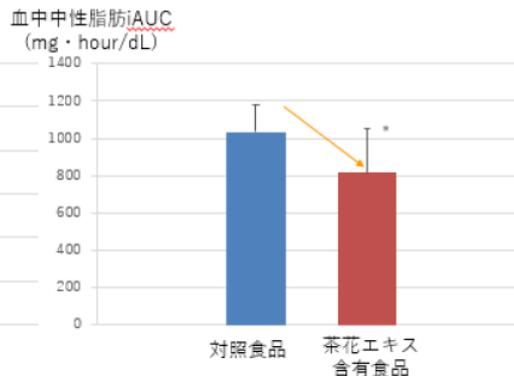
△血中中性脂肪の推移(平均値±標準偏差)
空腹時中性脂肪 150mg/dL 未満群
* 対照食品と比較して p<0.05



△血中中性脂肪の推移(平均値±標準偏差)
空腹時中性脂肪 150～200mg/dL 群
* 対照食品と比較して p<0.05
対照食品と比較して p<0.10



血中中性脂肪 iAUC(平均値±標準偏差)
空腹時中性脂肪 150mg/dL 未満群
* 対照食品と比較して p<0.05



血中中性脂肪 iAUC(平均値±標準偏差)
空腹時中性脂肪 150～200mg/dL 群
* 対照食品と比較して p<0.05

(出典)薬理と治療 vol.49, No.8, 2021 より

【結果】

茶花エキス含有食品は、対照食品と比較して食後血中中性脂肪の上昇を有意に抑制し、iAUCの有意味な低下から、食後血中中性脂肪の吸収も抑制されていることが示された。

【作用メカニズム】

食事由来の中性脂肪は高分子のため、そのままではヒトの体内に吸収できず、膵臓で分泌される膵リパーゼの働きにより吸収しやすい低分子に分解される。茶花乾燥エキスに含まれるチャカサポニン（I、II、III）が膵リパーゼ活性を阻害することにより、食事由来の脂肪の吸収を抑えることができ、食後の血中中性脂肪の上昇抑制につながると考えられる。